

なびます

高砂商工会議所報

令和5年4月1日発行 <https://www.takasago-cci.or.jp>

「市ノ池公園」



特集 「申義堂」移築や加古川河川改修に尽力した 実業家 長谷川亀次郎
「税制が変わります！」

- 会議所の動き 令和5年度事業計画・収支予算承認
- 会員インタビュー 高砂商工会議所の新会頭に就任した福島孝一さん
- レディース ゴー 好きな仕事に携われる喜びを胸に

VOL. 268



新築からリフォームまで

PaintWall

ドライウォール工法を使った
「自由自在の壁」

ショールーム

OnlyOne
network

オンリーワンネットワーク

ショールーム

高砂市阿弥陀町魚橋 755-1

tel:079-490-2682

創ります。

ときめき未来

ソネックがめざすのは、



人・街・自然が融合した「快適空間」です。



株式会社ソネック



もくじ

- 2 会議所の動き 令和5年度事業計画・収支予算承認

- 5 レディース ゴー 好きな仕事に携われる喜びを胸に

- 6 会員インタビュー 高砂商工会議所の会頭に就任した
(株)ソネック取締役会長の福島孝一さん

- 7 高砂ゆかりの人々 「申義堂」移築や加古川河川改修に
尽力した 実業家 長谷川亀次郎

- 8 クローズアップ 「税制が変わります！」

- 10 私のお気に入りの店 「高砂銘菓処」ならではの
高砂ゆかりの和菓子を

- 10 私の宝物 職員で世話をしている花壇

- 11 会員のひろば 活動報告

- 12 会員のひろば お知らせ



今月の表紙 「市ノ池公園」

高砂市北部にある自然豊かな公園。みどりの相談所やキャンプ場などがある。

「なびつま」とは…

古代には、現高砂地域の大半は加古川の旧流路中か海中にあり、河口付近には砂州が発達して、島のようになっていました。『播磨国風土記』には、「郡の南の海中に小嶋あり。名を南毗都麻と曰ふ」とあります。景行天皇の妻訪い伝承で有名なこの南毗都麻(隠妻)島は、加古川河口部付近にあったと推測されています。

たかさご史話59
く古代高砂の景観く より

この会報を通して会員と会議所、会員相互の交流を深めるだけでなく、地元「高砂」のことをもっと知ろうという願いを込めています。

通常議員総会

令和5年度 事業計画・収支予算承認

令和5年度の本所事業活動を決定する通常議員総会が2月28日(火)生石研修センターにおいて開催され、事業計画並びに収支予算等を審議しました。

同総会では、福島会頭をはじめ役員、議員約50名が出席し、会頭あいさつの後、議事録署名人を指名し、議事に入りました。

議案第1号 常議員の補欠選任について

議案第2号 定款の一部改正について

議案第3号 特別委員会の設置について

議案第4号 令和5年度事業計画について

議案第5号 令和5年度収支予算について

議案第6号 諸証明等手数料徴収規約の一部改正について

審議し、原案通り承認されました。

続いて、報告事項に入りました。

報告第1号 新入会員について

報告第2号 退会会員について

が報告され、通常議員総会は閉会しました。令和5年度事業計画、収支予算概要は次のとおりです。

令和5年度 運営スローガン

つかもう 新しい風！進もう未来へ！

— 時代の変化をとらえ、

地域と共に明日の高砂へ —

本年の干支は「癸卯（みずのと・う）」であり、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になると云われ、さらに新しい体制で事を開始するには縁起が良く、希望があふれ景気回復、好転する年になるとも云われています。

しかしながらわが国では、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高・物価高による影響、また本格的な人口減少社会の到来、デジタ

ル化・グローバル化の進展など、急激な環境変化による様々な経済社会課題に直面しています。この変革への大転換期を迎えた今、地域経済においてもその変化の波をプラスに捉え、果敢に挑戦することが求められています。

こうした変化の激しい不透明な状況が続いていますが、第29期は「いい会議所をつくりましょう」を引き続き運営方針に据え、「つかもう新しい風！進もう未来へ！」をスローガンとして次の4つの事業を重点的に推し進めていきます。

「地域経済の振興」においては、長引くコロナ禍、また資源高・物価高により大きな影響を受けている企業に対する伴走型支援の強化を進めていきます。

同時にデジタル化の推進と従来の中小企業支援、また創業や事業承継に対する支援にも注力していきます。

「文化観光の振興」においては、歴史

的景観形成地区に指定されている高砂町を中心に、そのポテンシャルを最大限に生かした文化観光都市の創造と、観光産業の活性化への取組みに挑戦します。

「行政に対する提言」においては、新たに再編する委員会と兵庫県や高砂市との連携を密にし、課題解決に向けて協力・前進していける関係づくりを構築していきたいと考えています。

「会議所の基盤強化」においては、7部会の事業活動を中心に会議所のプレゼンスを発揮し、認知度向上を図るとともに、会員増強と会員サービスを充実させることで、組織と財政の強化を推し進めてまいります。

〓商工業の発展なくしてまちの発展はない〓という思いを胸に、地域経済発展のために全力で取り組んでまいります。

令和5年度 重点事業

- ◇地域経済の振興
- ◇文化観光の振興
- ◇行政に対する提言
- ◇会議所の基盤強化

令和5年度 事業計画

1. 地域経済の振興
 - (1) 伴走型支援の強化
 1. コロナ禍、資源高等の影響を受けた会員事業所への支援強化
 2. 新製品、サービス開発、販路開拓への取り組み支援
 3. 小規模事業者対象の補助金制度活用促進及びサポート
 - (2) デジタル化の推進
 1. リモートワーク環境の整備促進に向けた取り組み支援
 2. SNS活用、IT機器導入による生産性向上と販路開拓の支援
 3. デジタル人材の育成・確保支援
2. 文化観光の振興
 - (1) 文化観光都市創造に向けた取り組み支援
 1. 歴史的景観形成地区の保存と整備に関する取組み
 2. 高砂みなとまちづくり構想への参画と協働
 3. 観光産業推進関連団体等との連携強化
 - (2) 文化観光の活性化支援
 1. 観光客誘致対策事業の推進
 2. 観光資源の開発・整備
 3. 農商工連携による高砂ブランドの開発支援
 - (3) 観光産業の活性化支援
 1. 観光客誘致対策事業の推進
 2. 観光資源の開発・整備
 3. 農商工連携による高砂ブランドの開発支援
 - (4) 観光産業の活性化支援
 1. 観光客誘致対策事業の推進
 2. 観光資源の開発・整備
 3. 農商工連携による高砂ブランドの開発支援
3. 行政に対する提言
 - (1) 委員会活動の活性化
 1. 地域経済活性と豊かなまちづくりに向けての政策提言・提案検討
 2. 既存企業の持続的発展に向けた政策提言・提案の検討
 3. 会員・議員の要望や意見の集約
 - (2) 課題解決に向けた行政との連携強化
 1. 県政、市政の計画・政策の調査研究
 2. 関係機関との意見交換や交流機会の創出
 - (3) 会館設備の機能充実と会議所機能の強化
 1. 建設準備に向けた委員会活動の活発化
 2. 会議所会館の維持存続及び設備更新に向けた取り組み推進
 3. 職員スキルアップのための積極的な研修会等への参加
4. 会議所の基盤強化
 - (1) 部会事業の活発化と会員事業所や会議所活動の認知度向上
 1. 部会並びに青年部、女性部活動の活発化
 - (2) 会員増強と会員サービスの充実による組織と財政の基盤強化
 1. 新規会員獲得のため年間を通じての会員増強の実施
 2. 収入の増加と経費の削減による財政基盤の安定強化
 3. 会員交流と意見集約など会員参加機会の拡大

令和5年度 高砂商工会議所 収支予算

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

一般（公益・収益を含む）

中小企業振興部

単位：千円

収入の部				収入の部			
科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)
1. 会費	36,610	36,610	0	1. 県補助金	36,124	39,401	△ 3,277
2. 負担金	400	400	0	2. 雑収入	500	400	100
3. 事業収入	37,278	37,199	79	3. 繰入金	11,000	8,000	3,000
4. 交付金	13,798	17,789	△ 3,991				
5. 雑収入	5,300	9,100	△ 3,800				
6. 繰入金	4,814	4,910	△ 96				
7. 繰越金	1,630	1,284	346				
合計	99,830	107,292	△ 7,462	合計	47,624	47,801	△ 177
支出の部				支出の部			
科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)
1. 事業費	35,933	44,048	△ 8,115	1. 給与費	38,712	38,503	209
2. 管理費	51,172	49,395	1,777	2. 福利環境整備費	1,437	1,064	373
3. 退職積立金	360	720	△ 360	3. 旅費	305	455	△ 150
4. 選挙費	0	300	△ 300	4. 事務費	587	487	100
5. 繰入金	11,200	11,200	0	5. 指導事業費	1,550	1,650	△ 100
6. 予備費	1,165	1,629	△ 464	6. 施策普及費	400	350	50
				7. 事務局長設置費	4,156	4,156	0
				8. 資質向上対策費	95	95	0
				9. その他の事業費	100	100	0
				10. 予備費	282	941	△ 659
合計	99,830	107,292	△ 7,462	合計	47,624	47,801	△ 177



Lady's Go

レディース ゴー



副社長としても活躍

好きな仕事に携われる 喜びを胸に

コスプレモデルや衣装製作も

子どものころからアニメが好きで、高校時代には大阪のナレーション専門学校にも通い、将来は声優や役者になるのが夢だったと話す桃井さん。家庭の問題に悩みがあり、一日も早く自立したかったので高校卒業後は加古川市役所に就職。多忙な日々を送っていた。

その一方、趣味として続けていたのがコスプレ衣装の制作。中学時代に柔道部において、黒帯を取るぐらい熱中したが、そのせいか肩幅の広い逆三角形の体形になり、市販の服ではサイズが合わなくなって、「だったら自分で作る」と一念発起。見よう見まねで服作りを覚えたのが、そもそものきっかけで、コスプレに使うキャラクターの衣装も最初のうちはアニメの衣装を真似して作っていたという。

桃井さんが副社長を務める匠工芸の折井匠社長との出会いは市役所時代。役所の近くにアニメファンが集まる飲食店があり、交流会が開かれていたが、市役所の同期の女性から、「アニメに出てくるような武器をプラスチックで作っている匠工芸の折井さんという人も参加している」と聞いて、桃井さんも参

株式会社匠工芸
副社長兼モデル

桃井 鈴さん



加することにしたという。

匠工芸はプラスチックの加工からスタートした会社で、折井さんは不愛想で第一印象は良くなかったが、たまたま二人とも「機動戦士ガンダム」のアニメが大好きだということが分かり、意気投合。桃井さんがコスプレ世界大会の関西代表をしていることを知った折井さんが、マンガやアニメ、コスプレといったサブカルチャーのイベントをやる際には手伝ってほしいと呼びかけたのがそもそもの始まりだという。

それが2015年のことで、一方で大好きな洋服づくりを自分の仕事にできないかと模索していた桃井さんは思い切って市役所を退職。その後、折井さんから「洋服づくりはそのまま続けてくれたらいいから、うちの事務の仕事をやってくれないか」と話をもち掛けられて2017年に入社。今では会社の副社長としてコスプレのモデルや衣装制作のほか営業や事務仕事もこなしており、「イベントとかで皆さんの前で変身するモデルの仕事の方が自立しています。が、仕事の99%は顧客との対応や見積もり、給与計算、請求書の処理といった地味なものばかりなんです。でも、そういった地味な仕事も割と好きだし、会社で営業の仕事をやっているのは折井と私の二人だけ。そういう仕事をしていると会社の中核を担っているという気がして、やりがいも感じています」と話す。

自身の新ブランドの立ち上げも

加えて今年1月からは自分のアトリエを開き、ハンドメイドのファンタジー衣装と小物の新ブランド「Beel Clothies（ベルクロス）」を立ち上げた。コンセプトは「日常にほんの少しのファンタジーを」だそうで、「女の子は誰もドレスにあこがれを持っていないのに結婚式ぐらいしか着る機会がない。好きなものを好きな時に着たいじゃないですか？そういう憧れや夢に応えられる洋服を提供したい」という思いがあってブランドを立ち上げたんです。想いをカタチに、というのが匠工芸のポリシーでもあるんです」。

社内にいるときは、あくまでも副社長として会社の業務に邁進し、それ以外の時間に自分の好きな洋服づくりに情熱を注いでいると話す桃井さん。

「実は明石の硝子屋さんと縁あって、そのの経理も見させてもらっているんですよ。ダブルワークどころかトリプルワーク（笑）。止まったら倒れるみたいに働いていて、1日が48時間だったらいいのとか、私がもう一人いてくれたらいいのと思うこともありますが、しんどさよりも好きなことを仕事にしている方が喜びが大きいです。それもこれも匠工芸という会社が、想いをカタチにしたいと考えている従業員に、やりたいことをやらせてくれる会社だからなんです。折井匠という人は、従業員がやりたいということを否定しない。無理だなと思えるようなことでも、まずはやらせてみる。そして途中で挫折しても「でけへん」ということが分かっただけでも良かったな」と言ってくれる人なんです」

匠工芸という会社、折井匠というリーダーに対する信頼の厚さがうかがえる桃井さん。今後の活躍が大いに期待できる若きレディースです。



【×モ】 株式会社匠工芸
高砂市荒井町日之出町12-5 ☎079-445-4500

—会頭には昨年11月に？

高砂商工会議所の会員に、企業人としての活動やモットー、会議所への提言などについて聞くこのコーナー。今回はこのたび第11代会頭に就任された福島孝一さんに、抱負などをうかがってみました。



株式会社ソネック
取締役会長
福島 孝一さん

—個人的には株式会社ソネックの
会長でもいらっしやる……。

はい。大学で建設工学部の建築を

はい。森本前会頭のご推挙を受けて就任しました。森本さんの下で副会頭を3年間務めていたこともあり、高砂の街をいかに発展させて次代に引き継ぐか、どのように活性化していくのかが会頭としての使命ではないかと考え、お引き受けしました。前会頭の「いい会議所をつくりましょう」を理念とし、新たに「つかもう！新しい風！進もう！未来へ！」をスローガンに加えました。会議所というのは外から見ると官半民の組織に近い組織だと思います。所内を活性化していくとともに、そこに入ってこられる会員各位の活性も図り、お互いに発展していかなければならないと思います。

専攻し、ソネックの前身である曽根組に施工管理技術者として入社しました。26歳の時一級建築士の資格を取り、ちょうど40歳で営業部に配属されました。その頃はまだ「官庁」の仕事が8割を占めていましたが、社会的に談合問題など業界の悪しき慣習が問題視されるようになると共に、官庁の仕事も減少傾向。会社としても民間の仕事にシフトして行く中、技術をもって営業を行う「技術営業」として当時県内の設計事務所をおかけで官から民へ移行ができ、今では福祉施設や病院の建設、マンション、工場建設など民間工事が8割を占めるようになっていきます。

48歳で取締役に平成24年56歳の時に社長に就任して10年間務め、昨年は令和元年から3年間副会頭を務め、昨年11月から会頭を務めさせていただいています。

建設業という以前はきつい、汚い、危険など3K職場といわれましたが、私は新3K「感謝、感激、感動」を作り出すのが建設業だと言い続けてきました。また自分自身が楽しくないと相手も楽しくない。自分たちだけでは幸せになれないし、お客様やまわりの協力会社も含めた幸せを求めていかなければ会社は発展していかないと。それは会議所での仕事も同じだと思います。

—前会頭時代からの「いい会議所をつくりましょう」の運営方針に加え、「地域経済の振興」「文化観光の振興」「行政に対する提言」「会議所の基盤強化」の

4つの事業を重点的に推し進めると、年頭の所信で語っておられますが？

高砂市というのはある意味、企業城下町ですよ。大企業が多く、その協力会社や下請け会社も当然多い。商工業といながらも、雇用面、税収面でも大きなウエイトを占めているのはやはり工業ですよ。多くの事業者の方もそうした皆さんを相手に商いをされている。地域経済の振興で言えば、工業の発展なくしてまちの発展はないと思っています。

文化観光の振興で言えば、高砂には秋祭り、万灯祭、ナイトファンタジーイリュージョンなど観光客を引き寄せる多くのイベントがあります。が、主催しているのは、それぞれ違う団体で、個々にしつかりとやっている。ですがバラバラにやっているという感じが残念なんですよね。

例えば向島公園でナイトファンタジーイリュージョンという花火大会をやっていますが、駅や駐車場から会場に向かうのに真っ暗な中を行かなければならない。それを仮に万灯祭と同日開催にすればどうでしょう？歩く道が楽しく賑やかですよ。相乗効果で観光客ももっと増えるし、それによって事業者も潤うのではないのでしょうか。

何もかもを一度にはできません。まずは中心に置くものを決めて、花が咲くところを一つでも増やしていきたい。行政を巻き込んで数多くあるイベントを結び合わせ、点から面にしていけないかと考えています。人が集まるまちなになれば飲食店も

にぎわうし、宿泊客も増える。丹波篠山や龍野あたりでは古民家を生かした飲食店や宿泊施設などが増え、観光客も増えていきます。高砂でもいろんなイベントに若い人たちが頑張ってくれています。会議所や特に行政がそれをサポートしていかなければならないと思っています。

行政に対する提言も、これまでは要望書を提出し、お願いするという形でしたが、本来、まちづくりは行政と市民、会議所の会員である我々「民」が両輪となって進めていくものだと思っています。要望書をただ出すだけでなく、「こういうことを一緒にやっていきましょよ」と、我々が行政に対して本気で提言していかなければ具体的な動きになっていかないと思います。

最後に会議所の基盤強化に関しては、会議所内部の活性化を図ることはもちろんですが、会員の皆さんが集まってきやすい「開かれた会議所」にしなければならぬと考えています。高砂町のランドマークともいえる外観だけでなく、会議所そのものを地域開放型のスペースにしていきたい。その前段階として、まずは皆さんからの評判がよろしくないとイレだけでも早急に綺麗にしていきたい次のステップに進めていきたいと考えています。

長々と述べてきましたが、会頭就任にあたって私も高砂の発展のために全力を尽くしてまいっている所存です。で、会員の皆様、関係各位、特に行政のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



実業家

長谷川亀次郎

「申義堂」移築や加古川河川改修に尽力した



復元された申義堂

高砂の礎を築いた学問所「申義堂」

高砂町横町。十輪寺などの寺院が立ち並ぶ一角に、平成24年に復元された「申義堂」がある。

申義堂は文化年間（1804～18）に姫路藩家老・河合寸翁の建議で高砂北本町に設立された町民子弟のための学問所で、高砂町の大寄・岸本吉兵衛が土地と建物を提供。藩から一定の出費はあったが、町民有志が費用を出し合い、運営にあたったと言われる。

菅野武助、三浦松石、小林梧陽、憲法学者の美濃部達吉の父秀芳ら、錚々たる学者や知識人が教壇に立ち、高砂の教育・文化の礎を築いたが、明治維新によって藩がなくなった

め申義堂も廃校となった。

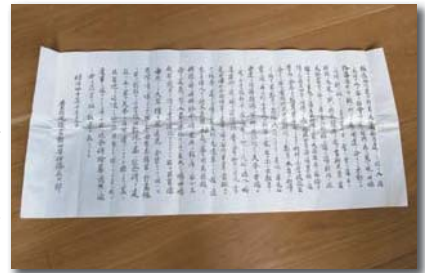
そのあたりの経緯を『高砂市史』は、「その後土地は明治二八年、高砂警察署のため兵庫県へ寄付され、さらに高砂町役場となり、現在は高砂地区コミュニティセンターへと変転した。それにもない建物は明治一二年五月に姫路光源寺の説教所として印南郡東神吉村西井ノ口に移築されたという。昭和七、八ころまでは使われていたのが、戦時中は軍の宿舎となり、戦後は村の倉庫に転用され、物置同然の荒れた姿になっていた。それが申義堂の建物であったことがあらためて確認されたのは平成二年四月であった。天井に棟札が打ち付けられていて明治一二年の移築が確認された」と書くが、この

ときの申義堂の移設に尽力したのが高砂の実業家・長谷川亀次郎だと言われている。

米の仲買や海運業でも活躍

亀次郎の子孫がまとめた『長谷川亀次郎を偲ぶ』や、高砂市教育委員会の資料などによると、亀次郎は天保9年（1838）に現在の加古川市東神吉町井ノ口に生まれ、若いときに高砂の南本町に出てきて米の仲買などで成功した人物で、姫路藩の大庄屋並となり、藩の蔵米の取り扱しも任されていたという。

明治になると亀次郎は蒸気船安洋丸を建造して海運業でも活躍。実業家として鉱石の精練や石灰の製造な



除幕式で伊藤長次郎が読んだ原稿

どにも携わったが、それ以上に教育に熱心に取り組み、私財を投じて出身地の西井ノ口に洋風2階建ての校舎を持つ小学校を創設。地元住民によってその功績をたたえる旌徳碑（記念碑）が小学校跡に建てられたが、その除幕式のときに今福在住の貴族院議員・伊藤長次郎が読んだ原稿も長谷川家に残っている。

また晩年、仏教に深く帰依した亀次郎は、廃藩後使われなくなったいた高砂町の申義堂の建物を自らの菩提寺である姫路の光源寺の説教所にしていったが、そこに高砂警察署が建設されることになり、亀次郎は建物を解体。出身地の西井ノ口に移築したと伝えられている。その後、建物は農業倉庫などに利用されていたが、平成2年に申義堂の建物だったことが分かり、現在地に復元されたものである。



亀次郎の子孫の長谷川哲也氏と「地徳小屋 鹿島柏修園」

●地徳小屋 鹿島柏修園
高砂市阿弥陀町地徳1番地 ☎090-2047-4244

亀次郎は西井ノ口に小学校を創設しただけでなく、加古川の河川氾濫の修復工事にも私財を投じており、明治の偉人の一人と言えるが、高砂の文化遺産とも言える申義堂を移築という形で守り、高砂市民に伝え残してくれたという点でも大いに評価すべきではないだろうか。

ちなみに、亀次郎の五代目の子孫、長谷川哲也氏は亀次郎の旌徳碑ともども、生まれ育った加古川から高砂にうつり、阿弥陀町地徳に盆栽園「地徳小屋―鹿島柏修園」を開き、心と体に優しいカフェメニュー「食す松」と共に、気軽に盆栽を楽しめる場を提供している。盆栽はもちろん、長谷川亀次郎に関心のある方は一度訪れてみてはいかがだろうか。

「税制が変わります！」

速報

令和5年度 税制改正のポイント

中小企業の自己変革への挑戦を後押しする税制やインボイス制度導入に係る負担軽減措置、電子帳簿保存法の要件緩和が実現！

I. 中小企業の自己変革への挑戦を後押しする税制

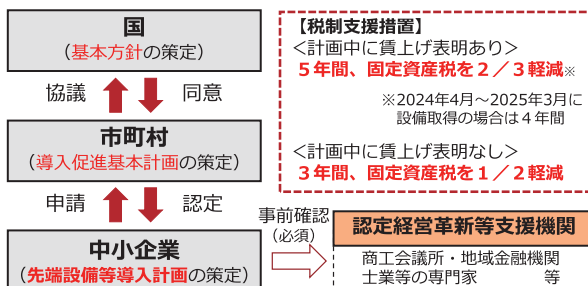
1. 中小企業向け設備投資減税の延長（2年）

▶ 中小企業の設備投資を促す以下の措置を延長

設備の種類 (価額要件)	機械装置 (160万円以上)	ソフトウェア (70万円以上)	器具備品・工具 (30万円以上)	建物附属設備 (60万円以上)
支援措置	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 2年延長 中小企業経営強化税制 即時償却又は税額控除10%（※7%） </div>			
	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> 2年延長 中小企業投資促進税制 30%特別償却又は税額控除7% ※ 30%特別償却のみ適用 </div>		<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> □ は、経営力向上計画の認定が必要 ※ を付した部分は、資本金3,000万円超1億円以下の法人の場合 </div>	

2. 償却資産に係る固定資産税の軽減措置の創設（2年）

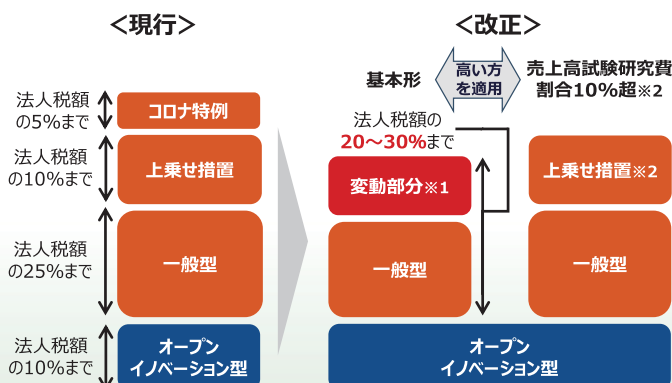
- ▶ 雇用者全体の給与が1.5%以上増加することを従業員に表明し、市町村の認定を受けた先端設備等導入計画に基づき一定要件を満たす機械等を導入した場合に、**最大5年間、固定資産税を2/3軽減**
- ▶ 賃上げを表明しない場合は3年間1/2軽減



3. 研究開発税制の延長（3年）・拡充

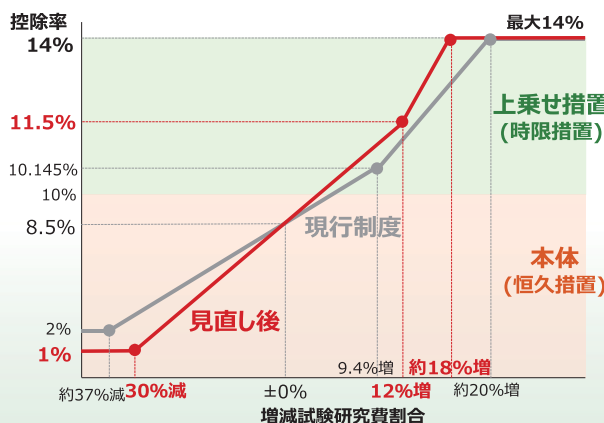
- ▶ 研究開発投資の維持・拡大に対するインセンティブ強化のため、試験研究費の増減割合に応じて控除上限が変動する措置や控除率の傾きを大きくする措置を導入
- ▶ 控除上限や控除率の上乗せ措置を3年延長
- ▶ オープンイノベーション型におけるスタートアップの定義見直しと博士号取得者等の高度研究人材の活用を促す措置の創設、試験研究費の範囲見直し（既存データを活用したサービス開発を追加等）を実施

控除上限の見直し



(※1) 試験研究費の増減割合に応じて控除上限が変動（▲5%～+5%）
 (※2) 売上高試験研究費割合が10%超の場合、控除上限最大10%上乗せ

控除率の見直し



I. 中小企業の自己変革への挑戦を後押しする税制 (続き)

4. 中小企業者等の法人税率の軽減措置の延長 (2年)

- ▶ 中小企業における所得800万円までの法人税率を19%から15%に軽減する措置を2年延長

所得金額	本則での税率	租特での軽減税率
年800万円以下	19%	15%
年800万円超	23.2%	-

5. スタートアップ支援の強化

- ▶ 個人投資家がスタートアップに出資した際に税優遇を受けられるエンジェル税制について、株式売却で得た利益をスタートアップへの再投資や起業に使う場合、売却益のうち20億円までは投資額に相当する分を非課税とする等



II. 納税環境整備

1. インボイス制度導入に係る負担軽減措置

① 税負担の軽減

- ▶ 免税事業者がインボイス発行事業者となった場合、納税額を売上税額の2割に軽減 (3年間)



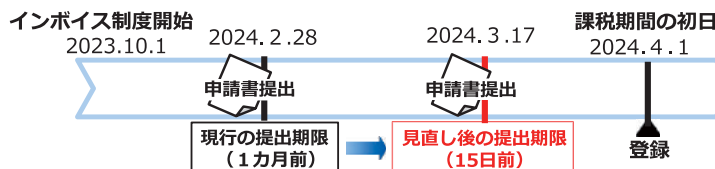
② 事務負担の軽減

- ▶ 前々年の売上が1億円以下または前年の上半期の売上が5千万円以下の事業者における1万円未満の仕入については、インボイスの保存を不要とし、帳簿の保存のみで仕入税額控除を可能に (6年間)



③ 登録申請期限の延長

- ▶ 2023年10月の制度開始時にインボイス発行事業者となるには、原則2023年3月末までの登録申請が必要であったが、2023年4月以降でも可能に
- ▶ 2023年10月以降に登録申請をする場合、提出期限は登録希望日の15日前までに緩和 (現行は1カ月前まで)



2. 電子帳簿保存法 (電子取引のデータ保存) の要件緩和

① システム対応が間に合わなかった事業者等への対応

- ▶ 税務署長が認めた場合 (事前申請は不要)、税務職員から提出を求められた際に送付・受領した領収書等をデータで提出できるようにしておくとともに、出力書面を保存しておけば良いこととする

② 検索機能確保要件の見直し

- ▶ 送付・受領した領収書等をデータで提出できるようにしておくことを前提に検索機能確保要件が不要となる売上高基準を5,000万円以下に緩和する等の措置を実施

多くの中小企業が
従前の保存方法で
対応可能に!



III. 防衛力強化に向けた財源確保

- ▶ 防衛力の強化に向け、**2024年以降の適切な時期に、法人税・所得税・たばこ税に関する措置を導入** (現時点で示されている方向性 (法人税部分))

- ・ 法人税額に対し、税率4~4.5%の新たな付加税を課す
- ・ 中小法人に配慮するため、**法人税額から500万円 (所得2,400万円相当) を控除**

↑
大多数の中小企業は対象外に (※課税対象は全法人の6%弱)

- ▶ これにより、2027年度に1兆円強の財源を確保

私のお気に入りの店

「高砂銘菓処」ならではの 高砂ゆかりの和菓子を

私のお気に入りの店



品質へのこだわりを強調する福田裕文さん

山陽荒井駅から北へ徒歩約10分。昭和34年（1959）創業の老舗和菓子店が「福助堂」で、店主の福田裕文さんは二代目だが、この道40年以上。「いろんな失敗を積み重ねて、それを経験してきた」と話すベテランの和菓子職人だ。和菓子の決め手となると思い浮かぶのが「あん」だが、店では小豆（あずき）の産地である北海道十勝地方の、信頼のおける業者から選りすぐった小豆を入手。その日の天候を見ながら水や砂糖などとの配合を考え、銅鍋でじっくり時間をかけて炊き上げているそう。「炊き上げ加減が、その店の味なのです」と話す。また、和菓子には小豆や砂糖など10種類以上の材料を使用するが、「儲けを考えて、そのうちの一つでも落としたら、

すぐには分からなくてもやがては分かってしまう。それをやったら和菓子屋はお終いだと思っています」と、質へのこだわりを強調する。

お店のもう一つのこだわりは、看板に「高砂銘菓処」と掲げるように、地域性を大事に、高砂に特化した和菓子を提供していること。これまでに「はばタンどら焼き」や「ぼっくりん」と遊ぼう」などマスコット名が入ったお菓子や、高砂ゆかりの宮本武蔵の「武蔵伊織の郷」や、石の宝殿をイメージした「浮石」などを送り出し、荒井に工場があるキッコーマン醤油の丸大豆醤油を使った「しょうゆ饅頭」など地域に根差した和菓子を開発している。

「コロナ禍で、法事や会合などが集まる機会が減り、和菓子の出番も減っていますが、近年、ようやく高砂の魅力を再発見しようと行政や会議所も観光振興に力を入れるようになってきました。我々の和菓子がその一助になれば……」と話す福田さん。高砂のお土産や高砂からのお使い物に地元のお菓子がもつとともっと利用されてもいいのではないか。



高砂に特化した和菓子たち

【推薦の言葉】

地元で長年愛される和菓子店で、代表の福田さんは東播和菓子組合の会長として、業界の為に常にチャレンジされております。高砂市のマスコット「ぼっくりん」にちなんだ商品など出張時は手土産として持参し、お客様に大変喜ばれております。

黒瀬株式会社 黒瀬 博彦さん

●福助堂
〒676-0018
高砂市荒井町若宮町2-15
☎079-442-4112
営業時間/9:00~18:30
定休日/第2・第4木曜日



山陽荒井駅から北に店舗がある

私の宝物 ~ My Treasure ~

職員で世話をしている花壇

姫路信用金庫
高砂支店 支店長
打田 浩之さん

去年の3月に支店長に着任して、始めたのが支店のまわりの花壇づくりです。以前、そこは植え込みだったので、花壇の方が雰囲気も華やぐし、町も明るくなるのではと考えたのです。

支店には12名の職員がいますが、幸い、役職の一人が花の栽培に詳しく、彼女の指導で土づくりから始めました。他の職員と一緒にホームセンターに行って花の苗や肥料を購入し、内勤の多い女性職員が中心になり、ときには営業から帰った男性職員も手伝って草抜きや水やり、花壇の掃除などに取り組んでいます。

支店の前の道は通勤・通学で皆さんがよく通られ、花の手入れをしているときなどに「きれいに咲いたね」とか「ご苦労さんやね」と声を

かけていただいたり、夏にひまわりがたくさん花をつけたときは、女子高生たちがスマホで写真を撮ったりと、地域の皆さんとの距離が近くなったような気がします。

また、花を職員みんなで育てることでチームワークも生まれ、風通しの良い職場づくりにも役立っていると思います。

「私の宝物」ではなく「私たちの宝物」になってしまいましたが、これからも職員みんなで協力してこの宝物を大切に育てていきたいと思っています。

●姫路信用金庫 高砂支店
高砂市高砂町浜田町2丁目3-10
☎079-442-4125(代)



店舗前の花壇



四季折々に花が咲く

私の宝物

従業員健康診断 を実施しました！

令和5年1月16日から2月17日までの二十五日間にわたり高砂市中小企業労働福祉協議会との共催による従業員健康診断が実施されました。

この健康診断は比較的少人数の事業所でも巡回健診を実施しており、大変好評をいただいております。また事業所巡回日に都合が悪い場合でも、市内の公民館等にて集合健診を受けることができます。受診料につきましても、市の補助金により低額に抑えられているため毎年多数の方が受診されています。

全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診も同時に実施しており、三十五歳以上七十五歳未満の協会けんぽ加入事業所の被保険者の方は、受診することができます。（協会けんぽ以外の組合管掌ならびに国民健康保険組合加入者はご利用いただけません。）この健診は協会けんぽから費用の補助を受けることができ、検査項目も充実しておりますので、是非ご利用下さい。



高砂商工会議所の会員サービス事業

得 マル得便

サービス内容を拡充!! お得な情報をお得に発信

年4刊発行する高砂商工会議所報「なびつま」に貴社のチラシを同封し、約1,600社の会員企業へお届けする高砂商工会議所ならではの販路拡大のためのサービスです。

用紙の大きさ及び体裁		料金
大きさ	体裁	
B5サイズ超～A4サイズ	一枚もの・折りなし	20,000(消費税別)
A4サイズ超～A3サイズ	一枚もの・二つ折り	30,000(消費税別)

お問い合わせは高砂商工会議所まで

【会員の皆様へ】

～会議所会費口座振替のお知らせ～

会議所会費口座振替制度をご利用の皆様につきましては、令和5年度前期分を4月17日(月)に振替させていただきますので、よろしくお申し込み申し上げます。

新入職員の紹介

◇高砂商工会議所



中小企業振興部 商工振興課
柳 田 哲 兵

令和4年12月1日より高砂商工会議所にて勤務しております。柳田と申します。中小企業振興部 商工振興課に配属となりました。

一日でも早く皆さまのお役に立てるよう、業務に邁進してまいります。ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

◇高砂商工会議所



中小企業振興部 指導課
宮 本 悠 輝

令和5年1月に入所しました宮本です。

弊所が地域の「よろず相談所」となるよう、新しい取り組みにもチャレンジしていきたいと思っております。

これからよろしくお願いたします。

高砂商工会議所貸館をご利用ください！

高砂商工会議所会館施設使用料金表(平日)

注()は、非会員の使用料金

時間帯		室名	特別会議室(36名)	大会議室(70名)	小会議室(15名)	談話室(6名)
A	9:00~12:00		3,000(3,900)	5,000(6,500)	2,700(3,400)	1,900(2,400)
B	13:00~17:00		4,500(5,850)	6,500(8,450)	3,400(4,300)	2,400(3,000)
C	18:00~21:00		6,000(7,800)	8,000(10,400)	4,200(5,300)	3,000(3,700)
D	9:00~17:00		7,000(9,100)	11,000(14,300)	5,800(7,300)	4,000(5,100)
E	13:00~21:00		9,000(11,700)	13,000(16,900)	6,800(8,500)	4,800(6,000)
F	9:00~21:00		12,000(15,600)	15,500(20,150)	8,200(10,300)	5,700(7,200)

※ 日曜日、祝日及び土曜日の使用料金は、通常料金の30%増とする。



大会議室



特別会議室

お問い合わせ先：高砂商工会議所事務部総務課まで

高砂商工会議所展示コーナー出展者募集

高砂商工会議所の展示ブースの一角に、有料で貸し出す小さな展示コーナーができました。市内の事業者を中心に、多くの人を訪れる高砂商工会議所。そこに商品を展示することで、新たな取引のキッカケ作りとして利用してみませんか？ご興味があれば、お気軽にお問い合わせください。



料金：2,000円／月(税込)

【展示スペースの大きさ】 縦:約43cm 横:約43cm 奥行:45cm

【お問い合わせ先】 高砂商工会議所 総務課 tel:079-443-0500

クイズコーナー

なびつま268号で掲載されている記事をもとに、クイズを出題！

全問正解者の中から抽選で1名の方に「3,000円分のクオカード」をプレゼント致します！

Q1 『レディースゴー』のコーナーより、桃井さんが、匠工芸社長の折井さんと意気投合するきっかけとなったアニメの名前は？

Q2 『会員インタビュー』のコーナーより、福島会頭が高砂商工会議所のスローガンに新しく加えた言葉は？

前回(267号)の答え：Q1 家 Q2 笑顔でいること

ハガキまたはメールに①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤「なびつま」の感想をお書き添えの上、右記まで送付ください。正解者の中から抽選で1名の方に「3,000円分のクオカード」をプレゼント致します。

なお当選は賞品の発送をもって発表とかえさせていただきます。

応募締切 2023年5月31日まで(当日消印有効)

送付先 〒676-8558

高砂市高砂町北本町1104

高砂商工会議所 総務課

E-mail takasho@takasago-cci.or.jp



企業発展のために!!

“地元を愛し” “地元で生きる”

高砂金融会(順不同)

三井住友銀行高砂支店

高砂市高砂町浜田町2-3-5
TEL (079) 442-2681

西兵庫信用金庫高砂支店

高砂市荒井町御旅2丁目10-2
TEL (079) 443-1313

みなと銀行高砂支店

高砂市荒井町中新町8-18
TEL (079) 443-4301

日新信用金庫宝殿支店

高砂市神爪1丁目10-2
TEL (079) 432-8711

兵庫信用金庫高砂支店

高砂市伊保港町1丁目8-1
TEL (079) 448-6001



ホームページはこちら

あなたの生活の中に
三晃グループがいます



誠実な仕事・地域密着・顧客第一主義・高品質サービス

明治37年創業

三晃グループ

真空式温水機 ガス焚

スーパーバコティンヒーター

GTL-300~800 (缶体出力:349~930kW)
GTLH-500[潜熱回収型] (缶体出力:581kW)

世界初の「潜熱回収型真空式ガス温水機」

- ガス焚専用の缶体設計で熱効率95%を実現!!
潜熱回収型は105%!! (GTLH型)
- ターンダウン比5:1の
比例制御バーナ採用!!
- 極めてクリーンな燃焼!!
- 省スペース設計&
分割搬入が可能!!



GTLH-500BN 型外

省スペース設計で
高効率化を実現!!

多管式貫流ボイラ ガス焚

スーパーエクオス

EQI-6001NM (最高圧力:0.98MPa)
EQIH-6001NM (最高圧力:1.57&1.96MPa)



換算蒸発量
6,000kg/h

複数台設置 貫流ボイラの進化

- 定格負荷効率99%!!*1
- 蒸気乾き度99.5%以上!!
- ターンダウン比8:1!!
- 20%の省スペース化!!*2

*1:0.98MPa仕様(蒸気圧力
0.49MPa、給気温度35℃、
給水温度15℃)
*2:当社従来機比較



EQIH-6001NM×3台

株式会社日本サーモエナー <http://www.n-thermo.co.jp>

サーモエナー

姫路営業所 〒670-0965 兵庫県姫路市東延末5-36
TEL(079)281-6227 FAX(079)284-9090

神戸支店 兵庫県神戸市永沢町3-4-18
関西支社 兵庫県尼崎市金業寺町2-2-33(タクマビル新館4階)
本社 東京都港区白金台3-2-10(白金台ビル)

TEL(078)579-6150
TEL(06)6488-2233
TEL(03)6408-8251

お問い合わせは
TEL 0120-088-874

兵庫県の中小企業をしっかりと守る共済制度

火災共済

自動車共済

事業物件に地震の補償をセットできる火災共済*

24時間365日の事故受付・安心の事故対応



ひょうご共済

兵庫県共済協同組合

ひょうご共済

*火災共済への地震補償のセットには一定の条件がございます。

ひょうご共済の共済制度に関するお問い合わせは
高砂商工会議所へ TEL 079-443-0500

HARIKAN BUSTERS
HARIMA KANKYO KANRI CENTER

播磨環境管理センター株式会社
兵庫県高砂市高砂町北本町1-1-1190
<https://harikan.net>

俺たちが向かうところ汚れなし! 「水圧2500キロ」で世界を大洗浄!